

令和 3 年度 支え合うプラン取組推進事業の報告

地域共生社会の実現に向け、今年度「支え合うプラン取組推進事業」を下記の通り実施しました。事業の概要と事業実施で見えてきたものを下記の通り報告します。

1 事業目的

くるめ支え合うプランに掲げる「支え合うところあふれるまち くるめ」の実現のため、フォーマルサービスとインフォーマルサービスの両輪で支え合う仕組みづくりを進めています。この事業では、様々な課題を抱えながらも、住民が自分たちで暮らしを支え合っていけるような関係性を幅広い世代で育み、それを持続できる方策を企画・実践していきます。

2 受託者

チエツク プロジェクト
Chietsuku Project・社会福祉法人 拓く共同事業体

3 事業の内容

課題が多様化・複雑化した地域社会に「未来に目を向けた新たな価値観」を生み出し、「久留米らしい支え合いの文化」を育むプラットフォーム(関わり、交じり合う場や機会)を創造します。受託者は、福祉分野とまちづくり分野から領域を超えて共同体を結成。独自の視点や発想、それぞれの立場からの対話を生かし、同プランに記載している課題の解決を目指します。

【具体的な取り組み】

* 新地福委員会：

さまざまな活動を実践してきた人を招き、その経験の話から地域福祉に大切な視点を見出して方程式としてまとめる対話の場

* 未来会議

次世代を担う若者(児童・生徒・学生)と地域の企業や団体・場とをつなぎ、悩みや問題意識、感性を共有。どうすれば若者に響き共感を生むことができるかを共に考え、アクションにつなげる

* みんなのもしも

あらゆる事象を自分ごととして捉える人が増えるよう、「当事者感覚」を体感できる場(プラットフォーム)づくりを推進

* 地福 TV

各事業の発信と交流をオンラインで行う。情報を伝播して関わる人を増やし、実感

と共感を連鎖させることが狙い。久留米発のオンライン交流企画「くるめオンライン公民館」と連携

4 今年度の実践から見えたもの

「専門機関と地域住民」「旧世代と新世代」「民間と行政」など対極にある存在が歩み寄り、ちょうど良い距離感で重なり合う関係性が地域に増えていくことが、地域共生社会の実現に向かうのではないだろうかという結論に達した。

対話を繰り返した中で、誰もが「自分の根本を意識する」「更新する意識を持つ」「本音で関わり合う」という3つの大切な意識を潜在的に持っているのではないかと気付いた。それが歩み寄りの種火になる要素だと整理。そして住民が行動変容するきっかけをもたらす3つのツール(仕掛け)を組み立てた。それが「もしも当事者組合」「もったいないワード」「未来会議」である。

このツール(もしくはその感覚)をうまく社会の中に組み込むことで、「あらゆることを自分事のできる」「相手の世界観をつかみ適切なコミュニケーションの糸口を見つける」「常に更新しながら誰かとともに進んでいけるコツ」に気付く人が増える。その結果、いろんな所で歩み寄りが生まれ、支え合う文化が醸成(≒地域共生社会)されると考えた。

今後、上記の視点やツールを組み込んだ具体的なアクションを検討したい。久留米らしい支え合いの文化が醸成され、さまざまな重なり合いが増えていくように。

支え合う文化への道のり

NEOとは何か、3つのネオはどのような位置付けか。何がどうなると良いのか。NEOが広がるロードマップを整理してみた

自分の力で吹く
空にたくさん舞う

見え合いは目に見えないから
シャボン玉で表現する
見るだけで楽しい
壊れてもまた吹けばいい

歩み寄りが必要 「自分の中に三つの視点」

- 【根を】** 自分の根っこを意識する
- 【ネオ】** 自分を更新し続ける
- 【本音を】** 本音で話せば距離が一気に縮まる

地域福祉NEO
= ちょうど良い「ココ」
歩み寄ることで「ココ」が形作られる

行政
オンライン
専門職
民間
リアル
地域住民

「歩み寄る=NEOる」
「対極」にある存在同士が歩み寄り合う

NEO視点を自然に実現する
歩み寄りたくなる
三つのツール
【GO NEO】

もしも当事者組合 感覚
もったいないワード 言語
未来会議 関係

自分事“地域福祉”

【本音を】 本音で話せば距離が一気に縮まる

【ネオ】 自分を更新し続ける

【根を】 自分の根っこを意識する

未来会議

- これからの地域福祉
- 未来を考える会
- どんな世代も

→ 未来会議

新地福委員会

- 日常の地域福祉
- 誰でもできる
- 多様な価値観を言語化

→ もったいないワード

みんなのもしも

- いざという時の地域福祉
- 痛みを伴わない備え
- 誰もが「当事者」意識

→ もしも当事者組合

地福TV

- 伝える地域福祉
- 全国誰にでも伝える
- オンラインでの対話

ネオラーになるNEOステップ

支え合う文化の醸成

【ネオ】 自分を更新し続ける

【本音を】 本音で話せば距離が一気に縮まる

【根を】 自分の根っこを意識する

もしも当事者組合 感覚
もったいないワード 言語
未来会議 関係

行政
オンライン
専門職
民間
リアル
地域住民

「歩み寄る=NEOる」
ちょうど良い「ココ」
地域福祉NEO
「対極」同士が歩み寄り合う

NEOる要素はみんなの中に
自然とNEOる 3つのツール
歩み寄って生まれるココ